

# 1. 地域活力の創出のためのプロジェクト群

市民が、いつまでも当市に住み働き続けたいと思うまち、元気で活気に満ちたまちを築きあげるためには、それを支える経済基盤を強化し、多様な雇用機会を確保することが重要です。

そのため、企業誘致の推進と地元中小企業の体質強化を図るとともに、当市独自の地域資源を生かしながら、競争力のある農水産業の振興と、魅力ある観光の振興を図ります。また、産学官民が一体となって、新たな活力を生み出す産業の育成を図ります。

## 1-1. 企業誘致推進・中小企業強化プロジェクト

施策1) 情報収集および分析力の強化による企業誘致の促進

施策2) 誘致企業と地元企業の事業連携の促進

施策3) 地元中小企業に対する経営基盤の強化

## 1-2. 攻めの農業プロジェクト

施策1) 産地化の推進によるブランドの創出

施策2) 地産地消活動の推進

## 1-3. 攻めの水産業プロジェクト

施策1) 魚市場の機能統合および衛生管理の高度化の推進

施策2) 漁船漁業の再生

## 1-4. 八戸ツーリズムプロジェクト

施策1) 八戸の魅力売込作戦の展開

施策2) 口コミで広げる八戸の魅力創造

施策3) 三陸海岸地域における連携の推進

施策4) 市民と進める観光振興

## 1-5. 産学官民連携プロジェクト

施策1) 連携・交流の促進と支援体制の充実



八戸グリーンハイテクランド

## 1-1. 企業誘致推進・中小企業強化プロジェクト

### プロジェクトの方向性

企業誘致をめぐる都市間競争が激しさを増してきているなか、高付加価値を生み、雇用創出力のある産業構造の構築と地元企業への波及効果の拡大に向けて、戦略的な誘致施策の展開が課題となっています。また、多様化する消費者ニーズなどの市場環境の変化に対応できるよう、地域活力の一翼を担う地元中小企業の一層の振興を図る必要があります。

そのため、誘致企業および地元企業に関する情報収集および分析力の強化、誘致企業と地元企業の事業連携の促進、ならびに地元中小企業の経営基盤の強化を図ります。

### 施策1) 情報収集および分析力の強化による企業誘致の促進

#### 【施策の概要】

情報収集および分析力の強化による企業誘致の促進を図るため、誘致企業および地元企業への訪問調査などの拡充や、地域の人材等を活用した誘致対象業種などの戦略的な絞り込みを行うとともに、既に誘致した企業に対する継続的な支援や情報交換に努め、雇用の確保や地元企業との連携に対する支援など、操業後の事業活動の支援を推進します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
拡充	①誘致企業・地元企業情報収集事業	市・企業誘致促進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に高度技術産業（自動車関連産業などの高付加価値型製造業、ソフトウェア・IT関連産業等）に関する情報収集</li> <li>誘致企業と地元企業との連携可能性に関する情報収集</li> </ul>	H19～23
拡充	②誘致対象業種分析事業	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>高付加価値化・雇用吸収力・波及効果に重点をおいた誘致対象業種の分析</li> <li>地域の人材などを活用した誘致対象業種の絞り込みとその定期的な見直し</li> </ul>	H19～23
継続	③誘致企業フォローアップ事業	市・企業誘致促進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致企業の立地時の関係機関との連絡調整</li> <li>誘致企業と地元の企業や大学などとの連携促進</li> <li>誘致企業と雇用関係機関との連絡調整</li> <li>誘致企業と市との意見交換会の開催</li> </ul>	H19～23

※リエゾン

フランス語で「連携」の意味で、ここでは大学・公的試験場・企業間の「橋渡し」のこと。

※中小企業振興条例

中小企業の自主的な努力を助長し、企業の近代化を促進するため、昭和53年（1978年）制定。中小企業者や中小企業団体などが行う高度化事業、共同施設設置事業などに対し助成金を交付している。



八戸インテリジェントプラザ

## 施策2) 誘致企業と地元企業の事業連携の促進

【施策の概要】

誘致企業と地元企業の事業連携の促進を図るため、産業支援機関や大学などと連携した地域産業の高度化を促進するとともに、地元中小企業の技術力向上を促進します。また、環境・リサイクル・エネルギー分野など、地域の特色を生かした新産業創出の取組みを促進します。

【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
拡充	①地域産業高度化促進事業	市・(株)八戸インテリジェントプラザ・(財)八戸地域高度技術振興センター	・(株)八戸インテリジェントプラザとの連携による地域産業高度化に対する支援 ・(財)八戸地域高度技術振興センターとの連携による研修指導、調査・研究および研究・開発に対する助成 ・企業間連携・産学連携を支援するリエゾン機能の創出	H19～23
拡充	②中小企業技術力向上促進事業	市	・中小企業振興条例などによる中小企業の技術力向上に対する支援	H19～23
継続	③新産業創出促進事業	市	・環境・リサイクル・エネルギー関連産業などの特色ある新産業創出のための研究開発等に対する補助	H19～23

## 施策3) 地元中小企業に対する経営基盤の強化

【施策の概要】

地元中小企業の経営基盤の強化を図るため、企業の現状と課題を把握する調査を実施するとともに、関係機関と連携しながら、経営相談や資金融資などを行い、戦略的な企業活動の展開や企業経営の改善を促進します。

【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
継続	①中小企業現況調査事業	市	・ヒアリング調査による企業の現状と課題の把握	H19～23
継続	②経営コンサルティング支援事業	市・八戸商工会議所（中小企業相談所・南部地域中小企業支援センター）・21あおもり産業総合支援センター	・開業、独立、新分野進出などの無料相談 ・専門家派遣などの経営相談 ・販路拡大などに向けた戦略的な企業活動に対する支援	H19～23
継続	③中小企業者向け融資制度	市	・融資の際の保証料補助などによる中小企業者の負担軽減 ・中小企業者の円滑な資金繰りに対する支援	H19～23

※周年生産体制

ある品種について、新たな技術開発などにより冬期も含め年間を通じた生産活動を行うこと。

※環境制御技術

作物がより生育しやすいように施設内の光、温度、湿度、土壌水分などを積極的にコントロールする技術。



イチゴ栽培

## 1-2. 攻めの農業プロジェクト

### プロジェクトの方向性

海外からの輸入農産物の増加や消費者ニーズの多様化を背景として、消費者の食に対する安全・安心志向が高まるなか、地場産品の高付加価値化や戦略的な販売体制の構築など、産地間競争を勝ち抜く「攻めの農業」への転換が課題となっています。

そのため、農産物の産地化を推進することにより、全国にアピールできる新たなブランドの創出を図るとともに、安全・安心な地場産品の消費拡大に向けて地産地消活動を推進します。

### 施策1) 産地化の推進によるブランドの創出

#### 【施策の概要】

産地化の推進によるブランドの創出を図るため、野菜・花きなどの園芸作物の品質向上や周年生産体制<sup>\*</sup>の確立のための施設整備を促進します。また、八戸ブランドとして当市を代表する農産物の育成・PRを推進します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
継続	①施設園芸産地拡大強化事業	市・県	・環境制御技術 <sup>*</sup> などを生かした施設整備の促進 ・事業内容の周知や事業実施のための指導	H19～20
継続	②「冬の農業」産地拡大施設整備事業	市・県	・冬期間の安定生産に向けた施設整備の促進 ・周年型農業の事業内容の周知や事業実施のための指導	H19～20
新規	③農業新ブランド育成事業	市・NPO	・消費者ニーズおよび生産能力の調査 ・新ブランド選定に向けた関係機関との協議 ・地場産品のPR	H19～23

※エコファーマー

「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」にもとづき、県知事から、たい肥などによる土づくりと化学肥料や化学合成農薬の使用の低減を一体的に行う農業生産方式を導入する計画について認定を受けた農業者。



ブルーベリー観光農園

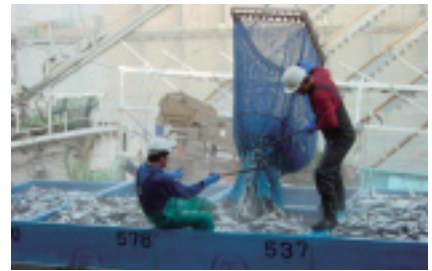
## 施策2) 地産地消活動の推進

### 【施策の概要】

地産地消活動の推進を図るため、環境にやさしい安全・安心な農産物の生産を普及・促進するとともに、地場産品の積極的な活用や地場産品に対する愛用意識の醸成を促進します。

### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
継続	①環境保全型農業普及促進事業	市・環境保全型農業普及推進協議会	・エコファーマー <sup>*</sup> 認定取得講習会の開催 ・栽培履歴情報付エコファーマーマークによる安全性のPRや地産地消活動の推進	H19～22
継続	②地場産品消費拡大推進事業	市・南郷観光農業振興会	・学校や病院などにおける給食での地場産品活用の促進 ・観光農園の農業体験による地元農産物に対する愛用意識の醸成 ・滞在型農園の受入体制の整備	H19～23



水揚げ風景

## 1-3. 攻めの水産業プロジェクト

### プロジェクトの方向性

水揚げ量の減少や国際的な漁業環境・流通体系の変化、燃油価格の高騰などを背景として、水産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、水揚げから流通にいたる市場機能の抜本的な再構築や、漁船漁業の経営改善が緊急の課題となっています。

そのため、生産・流通・加工の各分野に寄与する振興策として、魚市場の機能統合および衛生管理の高度化を図るとともに、水産業の活力の維持・回復に向けた漁船漁業の再生を推進します。

### 施策1) 魚市場の機能統合および衛生管理の高度化の推進

#### 【施策の概要】

魚市場の機能統合および衛生管理の高度化の推進を図るため、魚市場入場者の衛生管理意識の向上、市内3か所にある魚市場の機能統合に向けた調査・検討、および市場施設の整備を推進します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
継続	①魚市場機能統合に向けた調査・検討	市・卸売業者・漁業協同組合・八戸魚市場仲買人協同組合連合会	・卸売業者、漁業者および仲買関係者との意見調整 ・集約のために必要な機能の調査	H19~21
拡充	②衛生管理意識の向上	市・卸売業者・漁業協同組合・八戸魚市場仲買人協同組合連合会	・魚市場入場者向けの衛生管理マニュアルの作成と普及	H19~21
継続	③魚市場機能統合整備事業	市・県・国	・衛生的で集約された市場施設の整備	H19~23

※省エネ漁船

低燃費機関の搭載、大口径プロペラの採用など、消費エネルギーに考慮してつくられた漁船。



八戸漁港

## 施策2) 漁船漁業の再生

### 【施策の概要】

漁船漁業の再生を図るため、老朽化漁船の代船取得などを支援する組織の設置を促進するとともに、漁業協同組合の合併による組織体制の強化や、漁業者の技術・経営能力の向上など、漁業経営の高度化を促進します。

### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①老朽化漁船代船対策事業	市・県・国・八戸漁業指導協会・漁業協同組合	・代船取得などを支援する組織の設置の促進	H19～20
新規	②漁協統合推進事業	市・県・八戸漁業指導協会・漁業協同組合	・漁業協同組合合併促進法にもとづく漁業協同組合の合併の促進	H19～20
拡充	③漁業経営改善事業	市・県・八戸漁業指導協会	・漁業者の技術・経営能力の向上 ・研修会の開催などによる漁業経営の改善指導（省エネ漁船など）	H19～23



※フィルムコミッション

映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための機関。



国指定重要無形民俗文化財「八戸三社大祭の山車行事」

## 1-4. 八戸ツーリズムプロジェクト

### プロジェクトの方向性

東北新幹線八戸駅開業を契機に、当市の知名度は向上し、多くの観光客が訪れるようになってきました。こうした観光客の増加を持続させるためには、当市の観光資源の魅力をさらに全国に発信するとともに、観光関連事業者だけでなく、市民一人ひとりがおもてなしの意識を高めることが課題となっています。

そのため、効果的なメディアの活用や、知人・友人からの口コミによる観光PR、三陸海岸地域の市町村との広域連携による大規模なキャンペーンの展開など、市民や事業者との連携を図りながら、当市の魅力の多角的な発信による観光振興を図ります。

### 施策1) 八戸の魅力売込作戦の展開

#### 【施策の概要】

当市の魅力を全国に発信するため、テレビ、映画などのロケ誘致を担うフィルムコミッション<sup>\*</sup>の設立や、三社大祭などへのテレビドラマ等出演者の招致、大型客船の誘致など、観光客にとって魅力のある誘客事業を展開します。

また、中長期的な視点も含め、観光全般について専門的な見地から助言・指導をもらう観光戦略アドバイザーを委嘱します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①フィルムコミッション設立	市	・テレビ、映画などのロケ誘致のためのフィルムコミッションの設立に対する支援	H19～21
継続	②テレビドラマ等出演者招致	市	・三社大祭などへのテレビドラマ等出演者の招致	H19～23
新規	③大型客船の誘致	市	・大型客船の八戸港への寄航誘致による観光PR	H19～23
新規	④観光戦略アドバイザーの委嘱	市	・観光資源や中長期的な観光戦略に関する助言・指導	H19～21

### 施策2) 口コミで広げる八戸の魅力創造

#### 【施策の概要】

知人・友人の口コミによる観光PRを図るため、県外在住の当市出身者のネットワークを活用した「はちのへ観光サポーター制度」を導入します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①はちのへ観光サポーター制度の導入	市	・県外在住の当市出身者のネットワークを活用した観光PR	H19～23



※シーズ

将来に大きな発展が期待される資源やアイデア。



燕鳥とウミネコ

### 施策3) 三陸海岸地域における連携の推進

**【施策の概要】**

三陸海岸地域の広域連携による観光振興を図るため、代表的な旅行雑誌による「北三陸・八戸」の発行や、当市と三陸海岸地域の市町村による大規模な共同キャンペーンなどにより、積極的な観光PRを展開するとともに、三陸海岸の北の玄関口として、魅力ある観光資源の整備を図ります。

**【事業一覧】**

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①旅行雑誌「北三陸・八戸」の発行	市・関係自治体	・代表的な旅行雑誌による「北三陸・八戸」の発行	H19～20
新規	②三陸・八戸観光キャンペーンの開催	市	・当市と三陸海岸地域の市町村による広域観光の共同PR	H19～22
継続	③名勝・県立自然公園種差海岸の整備	市	・種差海岸への来訪者が快適に散策できる施設の整備	H19～23

### 施策4) 市民と進める観光振興

**【施策の概要】**

市民参画による観光振興を図るため、市民からの提案にもとづく新たな観光資源の発掘に努めるとともに、市民や事業者との連携により、当市の地域特性である多様な産業集積を生かした産業観光を促進します。

また、市民一人ひとりが「おもてなし案内人」となるよう、観光ボランティアの育成を図ります。

**【事業一覧】**

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①市民からの観光シーズ <sup>※</sup> の募集・発掘	市	・市民の目から見た観光資源の発掘	H19～22
拡充	②産業観光の振興	市	・多様な産業集積を生かした新たな観光の推進	H19～21
新規	③市民観光ボランティアガイドの育成	市	・市民観光ボランティアガイドの育成 ・市民観光ボランティアガイドの受入体制の整備	H19～23

※ビジネスマッチング

商品やサービス、技術力、人材などを必要としている事業者に対し、それを提供する事業者を紹介すること。



CAD/CAMエキスパート講座

## 1-5. 産学官民連携プロジェクト

### プロジェクトの方向性

当市では、基礎素材型産業および高度技術産業が集積し、大学などの学術研究機関が地域産業の高度化を支えています。一層の地域経済の発展のためには、企業・大学などがそれぞれ有するニーズおよびシーズを結びつけるための仕組みづくりや、連携の成果を事業化につなげる支援体制の構築が課題となっています。

そのため、企業・大学・行政・市民が情報を共有できるネットワークの構築や、ビジネスマッチングの<sup>\*</sup>機会の提供、円滑な事業化・起業化の支援など、産学官民の連携・交流の促進と支援体制の充実を図ります。

### 施策1) 連携・交流の促進と支援体制の充実

#### 【施策の概要】

企業・大学などの連携・交流の促進と支援体制の充実を図るため、各機関が有するニーズおよびシーズに関するデータベースの構築や、事業化・製品化に向けた支援を行うとともに、地元大学などの有する知的財産や施設設備を活用しながら、産業を支える人材育成や、企業の研究・開発および販路拡大などを促進します。

#### 【事業一覧】

区分	事業名	事業主体	事業概要	事業期間
新規	①連携促進・コーディネート支援事業	市	・各機関が有するニーズおよびシーズに関するデータベースの構築 ・事業化・製品化のためのコーディネート活動に対する支援	H19~23
新規	②人材育成支援事業	市・大学等	・大学などとの連携による研修事業の実施	H19~23
拡充	③研究開発・経営改善支援事業	市	・産学官民連携での研究・開発や販路開拓などを進める企業等に対する支援	H19~23